



目次

子どもに身に付けさせたい力 1

各学年・各教科で取り扱う内容例 1

実践例

小学校

社会における実践
第3・4学年 健康な暮らしとまちづくり 2

理科における実践
第6学年 生き物と環境 4

中学校

社会における実践
地理的分野 日本の資源とエネルギー 6

理科における実践
第3学年 エネルギー資源とその利用 8

技術・家庭における実践
技術分野 エネルギー変換に関する技術 10

エネルギー・環境 関係機関ホームページ 裏表紙



ちつきゆん

札幌らしい特色ある学校教育
未来の札幌を見つめる【環境】
キャラクター

子どもに身に付けさせたい力

エネルギー・環境について、事実に基づいて正しく理解するとともに、持続可能な社会の構築という視点から、自ら考え、判断し、表現する力。

各学年・各教科で取り扱う内容例 (主な単元・題材等)

		社 会	理 科	家 庭
小 学 校	中 学 年	健康な暮らしとまちづくり (第3・4学年) 地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理の学習において、電気を選択し、電気の安定供給や原子力発電について扱う。		
	高 学 年	環境を守る人々 (第5学年) 我が国の国土の環境を守り公害を防止する学習において、原子力発電所の事故を取り上げ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを扱う。	生き物と環境 (第6学年) 生物は、水及び空気を通してかかわって生きていることの学習において、酸性雨や地球温暖化等とともに放射能汚染を扱う。	寒い季節を快適に (第5・6学年) 札幌市では冬に電気使用料が増えることから、寒い季節を快適に過ごすための住まい方や衣服の着方をエネルギーと関係付けて扱う。
中 学 校	第 一 学 年			技術・家庭 技術分野 エネルギー変換に関する技術 化学エネルギーや電気エネルギー、熱エネルギー等の様々なエネルギーを違う種類のエネルギーに変換する仕組みと保守点検について学習する。 その際、エネルギーの変換効率や発電コストだけではなく環境への負荷についても扱う。
	第 二 学 年	地理的分野 日本の資源とエネルギー 我が国は資源を輸入に依存していることや、我が国の発電所の立地条件及び環境保全と経済発展が両立するエネルギー利用について扱う。	電流と磁界 電流や磁界についての学習を通して、日常生活を支える電流について理解するとともに、発電の仕組みについても扱う。	家庭分野 身近な消費生活と環境 自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、水や電気、ガスの節約などを工夫した調理実習を行うなどの実践ができるよう、衣食住や家族の生活と関連付けて扱う。
	第 三 学 年	公民的分野 資源・エネルギー問題 エネルギー資源が不足し一層の省エネが求められていることや、地球温暖化や原発事故も踏まえ、再生可能エネルギーへの期待が一層高まっていることについて扱う。	エネルギー資源とその利用 運動とエネルギーの学習を踏まえ、それぞれの発電の仕組みや特徴について、科学的な視点から考察し、環境への負荷がより小さいエネルギー資源の開発と利用が課題であることについて扱う。放射線の性質と利用についても触れる。	